

入院料評価の変遷

- 看護師の数や割合の評価オンリーから患者の容態(重症度、医療看護必要度評価票による一定基準以上の患者が占める割合)の評価に移行している

1974年～
基準看護時代

看護要員
数
(正・准・補
割合)の評
価

1994年～
新看護体系
時代

看護職員
数と看護
補助数の
組合せ評
価
(付添廃
止)

2000年～
入院基本料
時代

入院環境
料・看護
料・入院時
医学管理
料を統合し
た評価

2006年～
7対1導入

看護職員
数と患者
の状態(重
症度・看護
必要度)に
よる評価

近年

重症度、医
療・看護必要
度、チーム医
療の評価
(タスクのシフ
トやシェア)

↑
1984年～
特定療養
費制度

↑
1993年～
特定機能病院、療養
型病床群の制度

↑
2003年～
DPC/PDPS導入、
ICUに看護必要度評価

↑
2016年
看護必要度
ABC25%以上